

第29回 若葉カップ全国小学生バドミントン大会

大会報告書



期　　日　　平成25年8月2日（金）～8月5日（月）

会　　場　　京都府長岡市西山公園体育館

主　　催　　公益財団法人日本バドミントン協会
　　　　　　日本小学生バドミントン連盟
　　　　　　長岡市

特別協賛　　株式会社村田製作所（本社：長岡市）

大会実行委員会事務局

〒617-0812 京都府長岡市長法寺谷山1番地 西山公園体育館
　　　　　　公益財団法人長岡市体育協会事務局内

Tel 075-953-1161 Fax 075-953-1163

目 次

1. 第 29 回大会トピックス報告	1
(1) 42 都道府県から男女 96 チームが参加	
(2) 選手約 980 名が堂々の入場行進	
(3) 予選リーグの後、決勝トーナメント方式	
(4) 熱中症対策や駐車場整理に万全を期す	
(5) 監督代表者会議でルール等を確認	
(6) 地元高校生が審判員として協力し、刺激を受ける	
(7) 戦績、上位成績、優勝チーム	
2. 決勝トーナメント成績	3
(1) 男子決勝トーナメント	
(2) 女子決勝トーナメント	
3. 第 29 回大会の概要	4
4. 輸送案内、宿泊・弁当斡旋等	6
(1) 選手等の輸送案内	
(2) 宿泊斡旋	
(3) 弁当斡旋	
(4) 休憩所設置	
(5) 救護体制	
5. 第 29 回大会の参加都道府県(チーム)一覧	7
6. 第 29 回大会スナップ写真	8
(1) 会場諸準備	
(2) 会場準備及び監督代表者会議	
(3) 開会式	
(4) 予選リーグ及び決勝トーナメント	

【大会トピックス報告】

○42都道府県から男女96チームが参加

第29回若葉カップ全国小学生バドミントン大会が、8月2日(金)から5日(月)までの4日間、長岡市西山公園体育館で開催された。大会は今年で29回目。“小学生バドミントンの「長岡京」として定着してきた。



今年は42都道府県から予選大会を勝ち抜いた男女96チームが参加

し、日本一を決めるクラブ対抗の団体戦として熱戦を繰り広げた。

会場では未来のオリンピック選手をめざす小学生たちが、大人顔負けのプレーを披露し、試合に挑んでいた。

○選手約980名が、堂々の入場行進

開会式では地元の小学生が司会を務め、長岡市マーチングバンドスポーツ少年団が演奏する行進曲にあわせて選手980人が元気よく入場行進。優勝カップ返還や歓迎あいさつ、選手宣誓などが行なわれ、士気を高めた。

○組合せは事前に公開抽選

予選リーグの組合せは事前に公開抽選として行われ、初戦で近隣同士が対戦しないよう全国を北・中・南ブロックに分けた抽選が行われた。

○予選リーグの後、決勝トーナメント方式

試合は6年単、4年単、5年複、6年複、5年単の5試合で勝敗を競う方式で行われ、男女とも1ブロック3チームの予選リーグを行い、各ブロック1位による決勝トーナメント戦で行われた。



○熱中症対策や駐車場整理に万全を期す

気温35度を超える盛夏の大会のため、熱中症予防策として全館冷房運転を行い、冷房が利かない小体育室には大型扇風機を設置して、大体育室やエントランスホールの冷気を送り込むなど、子どもたちの健康管理に努めた。また、体育館周辺の民有地や社有地を大型バスや乗用車の臨時駐車場として借上げ、体育館まで往復シャトルバスで輸送した。



○監督代表者会議でルール等を確認

開会式・試合に先立って行われた監督代表者会議では、主催者側からの説明の後、質疑が繰り広げられ、共通理解に努めた。

○地元高校生が審判員として協力し、刺激を受ける

大会には、京都府や長岡京市の両バドミントン協会の公認審判員や役員など延べ300名が競技役員として試合の進行に努めたほか、地元の高校バドミントン部員約200名が審判員(線審)として、4日間の大会運営に協力した。高校生らは大人顔負けの小学生のプレーに大きな刺激を受けていた。

【戦 績】

- 試合方法：試合は6年单・4年单・5年複・6年複・5年单の順による都道府県代表のクラブ対抗団体戦方式。
- 男子の部優勝：N P 神奈川（神奈川県）
- 女子の部優勝：小平ジュニアバドミントンクラブ（東京都）

【上位成績】

男子の部	優 勝	N P 神奈川（神奈川県）
	準優勝	D r e a m. J r（福井県）
	3 位	広島安佐ジュニア（広島県） 永井バドミントンクラブ（岡山県）
	5 位	師勝ジュニアバドミントンクラブ（愛知県） 長岡京市バドミントンスポーツ少年団（京都府・開催市） 勝山チャマッシュジュニアバドミントンクラブ（福井県） 七山モンキーズ（佐賀県）
女子の部	優 勝	小平ジュニアバドミントンクラブ（東京都）
	準優勝	岡垣ジュニアバドミントンクラブ（福岡県）
	3 位	鳩ヶ谷ウィングス（埼玉県） 樋原ジュニアバドミントンクラブ（奈良県）
	5 位	花園ジュニアバドミントン（香川県） 瓜破西S S C（大阪府） 三郷ダックスジュニアバドミントンクラブ（埼玉県） 小野Jr. バドミントンクラブ（新潟県）

※優 勝：表彰状・優勝カップ、文部科学大臣杯、京都府知事賞、選手全員に金メダルと盾

※準優勝：表彰状・準優勝トロフィー、選手全員に銀メダル

※3 位：表彰状・3位トロフィー、選手全員に銅メダル

※5 位：表彰状

【優勝チーム】



男子の部：優勝

N P 神奈川（神奈川県）

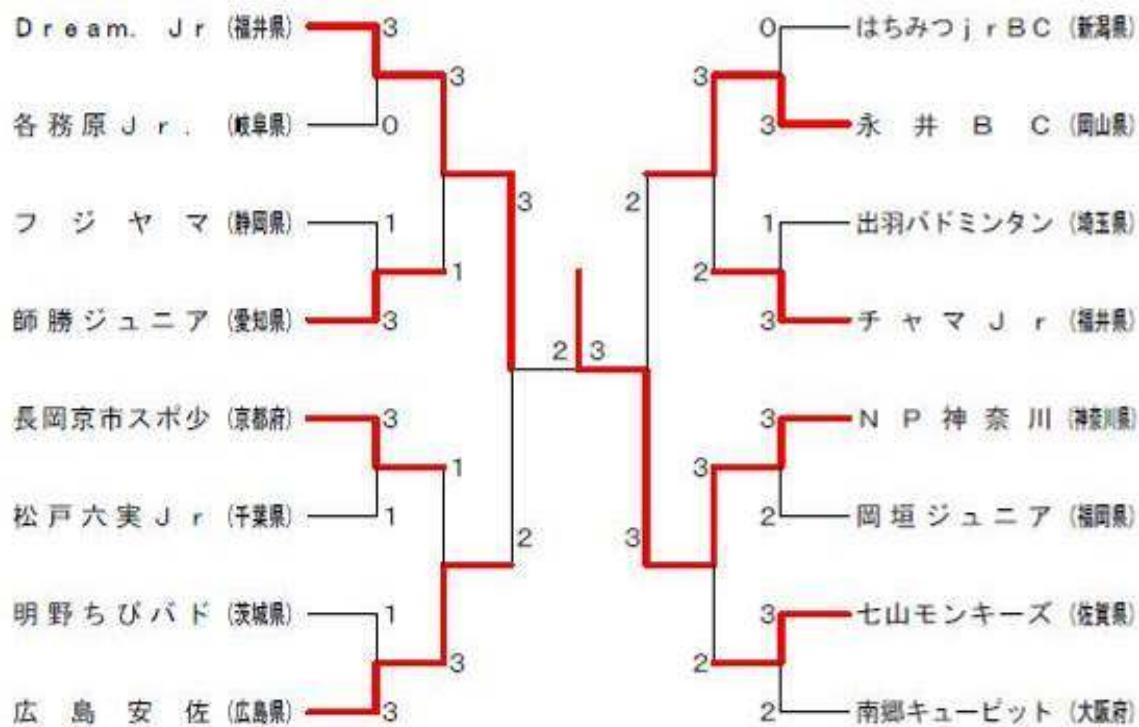


女子の部：優勝

小平ジュニアバドミントンクラブ（東京都）

【決勝トーナメント成績】

男子団体 決勝トーナメント



女子団体 決勝トーナメント



【第29回大会の概要】

1. 開催趣旨

全国の小学生にバドミントン競技をする機会を広く提供し、同競技を通じて少年少女の相互の交流と友情を深めるとともに、体力の増強と健全で豊かな“スポーツ心”の育成を趣旨として、都道府県予選を勝ち抜いたクラブ対抗団体戦として開催する。

2. 主 催

公益財団法人日本バドミントン協会
日本小学生バドミントン連盟
長岡京市

3. 主 管

長岡京市教育委員会
京都府バドミントン協会
公益財団法人長岡京市体育協会

4. 後 援

文部科学省、京都府、京都府教育委員会、公益財団法人京都府体育協会、朝日新聞社、京都新聞社、産経新聞社、毎日新聞社京都総局、読売新聞京都総局、日本経済新聞社京都支社、ベースボール・マガジン社、KBS京都、NHK京都放送局

4. 特別協賛

株式会社村田製作所（本社：長岡京市）

5. 協 賛

京都乙訓ロータリークラブ、京都西山ロータリークラブ、株式会社ゴーセン、ミズノ株式会社、ヨネックス株式会社、ヒロウン株式会社、メトロレジャー株式会社、アメアスポートジャパン株式会社、日本バドミントン専門店会

6. 期日および日時

1) 都道府県予選大会：平成25年4月下旬～6月下旬

※予選大会概要および成績はプログラムに記載。

2) 全国大会：平成25年8月2日（金）～8月5日（月）

第1日 8月2日（金）

12時30分～ 監督代表者会議

14時00分～ 開会式

15時30分～ 予選リーグ戦①

第2日 8月3日（土）

9時00分～ 予選リーグ戦①

11時15分～ 予選リーグ戦②

12時15分～ 予選リーグ戦②

15時30分～ 予選リーグ戦③

15時30分～ 予選リーグ戦③

15時45分～ 予選リーグ戦④

第3日 8月4日（日）

9時00分～ 予選リーグ戦①

11時15分～ 予選リーグ戦②

13時30分～ 予選リーグ戦③・決勝トーナメント1回戦

15時45分～ 決勝トーナメント1回戦

第4日 8月5日(月)

- 9時00分～ 決勝トーナメント準々決勝
- 11時30分～ 決勝トーナメント準決勝
- 13時00分～ 決勝トーナメント決勝
- 14時00分～ 閉会式(表彰式)

7. 会場

長岡市西山公園体育館(京都府長岡市長法寺谷山1番地)

8. チーム編成

監督1名、コーチ2名、選手7名以上10名以内、年間を通じて継続して活動している同一クラブに属するものとする。

9. 参加チーム

- 1) 男子の部は38都道府県から48チーム、女子の部は40都道府県から48チーム、計96チームが参加。(選手約980名、監督・コーチ約200名、保護者応援者等1,000名、競技役員、審判員約400名)
- 2) 都道府県での予選大会により代表チームを決定し、都道府県バドミントン協会を通じて申込み。不参加県の枠は、日本小学生バドミントン連盟への登録者数の多い県から順に第2代表の出場を設けた。

10. 試合方法

- 1) 6年单、4年单、5年複、6年複、5年单の順により2複3单の計5試合として実施。
- 2) 下学年が上學年への出場は可とする。単・複を兼ねることはできない。
- 3) 3チームのゾーンリーグを行い、1位チームによる決勝トーナメント方式で行った。

11. 競技規則

現行の公益財団法人日本バドミントン協会競技規則並びに大会運営規定により行った。

12. 広報

日本小学生バドミントン連盟のインターネットホームページで、大会概要、組合せ、大会成績などの情報を発信した。

13. 事故防止・救護体制

- 1) 盛夏の大会開催なので、体育館内の大体育室・エントランスホール・選手控室の冷房運転を行い、選手、関係者の健康管理につけた。
- 2) 大会期間中、看護師の常駐をはじめ、長岡市を通じて病院や消防署への事前連絡を行い、万一の救急体制に備えた。

14. 補助金の交付

- 1) 補助金交付要綱にもとづき、参加チームに対して、各補助金を交付した。
 - ①交通費補助金(JR運賃を基準に男女各1チーム7,000円～90,000円)
 - ②宿泊費補助金(男女各1チーム10,000円)
 - ③最終日決勝トーナメント進出チームに追加宿泊補助金(10,000円)

15. その他

- 1) 参加チームに対して、宿泊先と昼食弁当を斡旋した。
- 2) 臨時駐車場との交通アクセスとして、シャトルバスを運行した。
- 3) 選手全員に記念Tシャツ、記念うちわ、プログラムを参加賞として配布した。

【輸送案内、宿泊・弁当斡旋等】

1. 選手等の輸送(交通案内・駐車場確保)

①大会1日目(8月2日(金))

- 開会式開始前 ☆JR長岡京駅-----4名配置 (バス停・タクシー乗り場へ誘導)
☆阪急長岡天神駅-----2名配置 (バス停へ誘導)
☆輸送本部-----7名配置 (大型車両等の出入り調整)
- 開会式終了後 ☆輸送本部-----大型バス・中型バス等の発着調整
光風台住宅前・長法寺バス停への誘導
JR長岡京駅行き「無料シャトルバス」貸切
大型バス4台の運行

②大会2日目～4日目(路線バス及びタクシー利用を奨励)

- ☆阪急バス-----プログラムに時刻表を掲載・玄関前に時刻表看板設置
- ☆阪急タクシー(922-3156) ☆都タクシー(921-0038)

③臨時駐車場の確保と無料シャトルバス運行

【大型・中型・マイクロバス専用】⇒車両数→大型14、中型12、マイクロ6 計32台

①(株)村田製作所長岡事業所	50台可
----------------	------

【乗用車専用】⇒車両数→「一日最大270台」

①西山公園体育館	70台可	④光明寺専用駐車場	40台可
②長岡京こらさ		⑤乙訓ライスセンター	70台可
③光風台住宅北側(市有地)	30台可	⑥(株)村田製作所所有地	60台可
合計			270台可

2. 宿泊斡旋

※宿泊希望チームに、JTB京都支店及びトップツアーア京都支店を通じて、JR京都駅周辺並びに阪急四条烏丸・河原町周辺のホテル・旅館を斡旋した。

3. 弁当斡旋

※会場周辺には食堂がないために弁当の斡旋を行い、参加者の便宜を図った。

期日	弁当価格		
8月3日(土)	8月4日(日)	8月5日(月)	各600円

※安全管理

- ・冷房のある研修室で保管し食中毒等に対し十分に注意を払い、安全管理に努める。
- ・配布の際には午後3時までに食べ終わるよう周知徹底した。

※ゴミの処理について

会場にゴミ箱を設置し、分別収集を行い、弁当がらの廃棄は業者に委託し、会場周辺の美化に努めた。

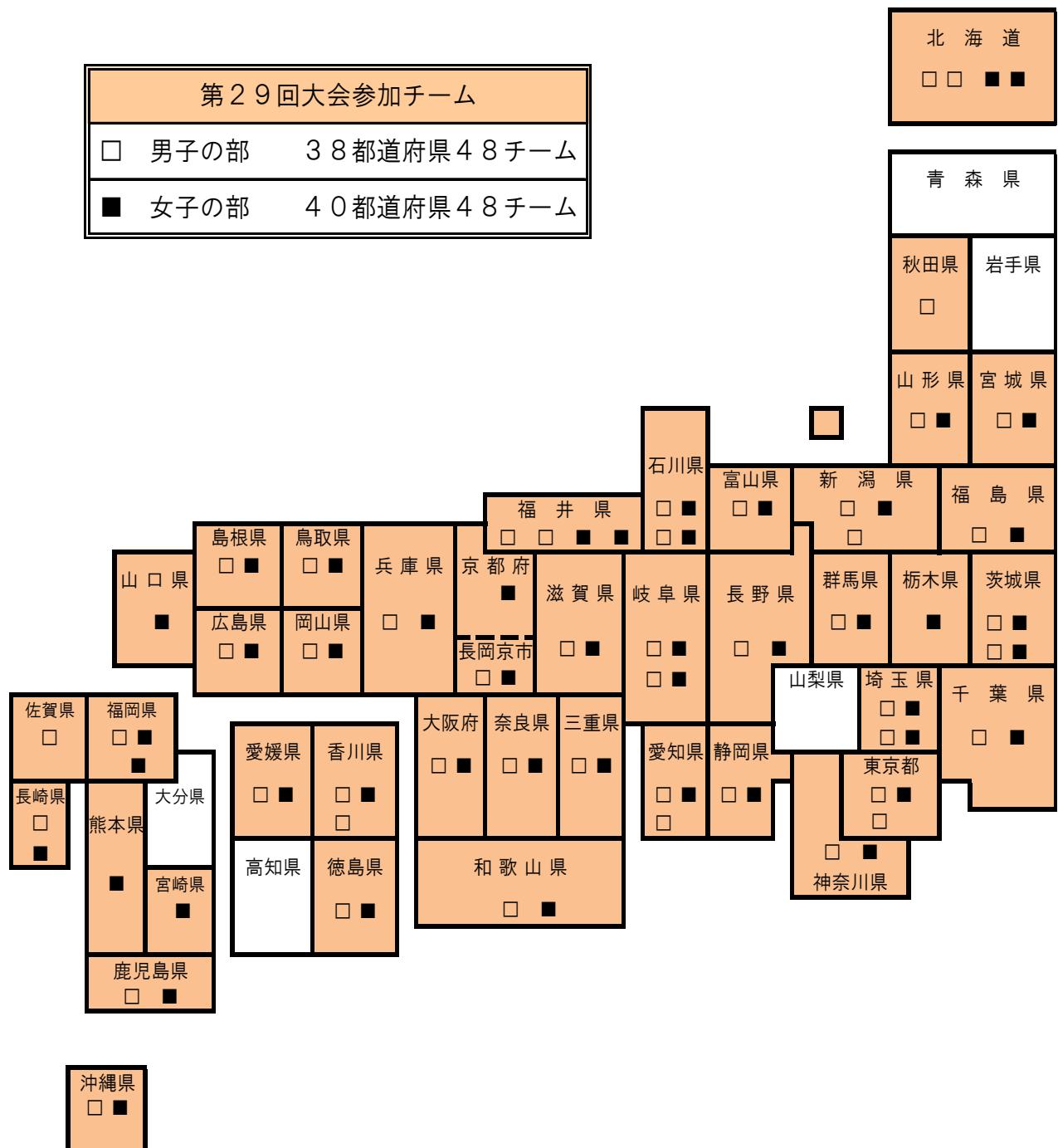
4. 休憩所設置

※西山公園体育館の武道場・エントランス前、多世代交流ふれあいセンターの交流室に選手休憩所を設置して、選手等の待機場所等の便宜を図った。

5. 救護体制

※大会会場内に医務室を設けて医療機関と連携を図り、迅速な救護活動を行った。また、看護師を配置して、傷病者の応急処置及び看護と医療機関への搬送指示等を行った。

【第29回大会の参加都道府県(チーム)一覧】



※不参加の県の枠を、日本小学生バドミントン連盟登録者数の多い県から順に第2代表枠を設けて割り振り、47都道府県+1開催地、男女各48チームとした。

【大会スナップ写真】

【会場諸準備】



▲臨時駐車場周辺への看板設置



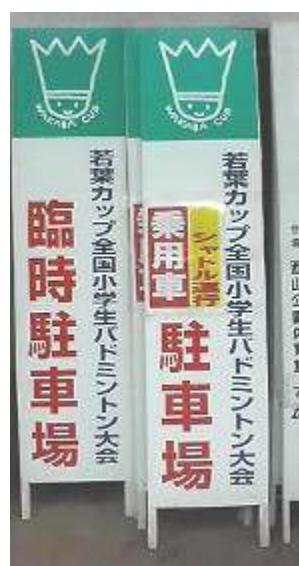
▲光明寺前への看板設置



▲長岡京IC出口へ誘導看板設置



▲長岡京IC出口へ誘導看板設置



▲各種看板(会場誘導・駐車場誘導など)

【会場諸準備・監督代表者会議】



▲西山公園体育館内メイン看板と各旗



▲体育館登口横断幕、啓発のぼり



▲監督代表者会議(主催者説明)



▲監督代表者会議(参加者)



▲監督代表者会議(ルール再確認と質疑)

[開会式]



▲開会式会場(大体育室)



▲開会式(入場行進)



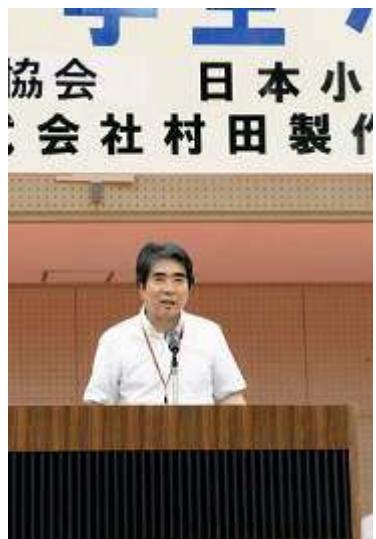
▲行進曲演奏のマーチングバンド少年団



▲開会式(入場行進)



▲開会式(選手整列)



▲開会宣言(能登理事長)



▲主催者あいさつ(小田市長)



▲祝辞(故・上田議長)



▲競技上の諸注意



▲歓迎のことば



▲選手宣誓

[予選リーグ・決勝トーナメント]











